



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <http://www.foster.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 (TEL) 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	101,142	16.8	3,958	293.3	4,104	230.3	2,468	1,101.7
24年3月期第3四半期	86,558	17.2	1,006	△83.6	1,242	△79.7	205	△94.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,918百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △1,315百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	105.83	105.05
24年3月期第3四半期	8.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	103,550	38,471	35.1	1,559.17
24年3月期	70,050	34,973	47.2	1,416.81

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 36,373百万円 24年3月期 33,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	10.00	25.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	17.1	6,000	230.4	6,000	191.4	4,000	256.2	171.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	23,506,015株	24年3月期	23,506,015株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	177,016株	24年3月期	176,982株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	23,329,026株	24年3月期3Q	23,329,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) セグメント情報等	10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における世界経済は、米国経済では緩やかながらも景気の回復が進みましたが、全般的には欧州債務危機をめぐる混乱や新興国経済の減速等を背景に不透明感の強い状況が続きました。わが国経済におきましては、期の後半には新政権への政策期待から円安の進展や株価の回復がみられましたが、期を通しては、復興需要による下支えはあるものの、海外景気の鈍化等の影響を受け総じて弱い動きとなりました。

当社グループの属する電子機器・電子部品業界におきましては、薄型テレビの販売不振、米国を除く自動車販売の落ち込み、スマートフォン、タブレット関連機器向けのみが需要をリードする不安定な状況が続きました。

こうした中、当社グループでは、生産性の向上及び業務効率の改善に取り組むと同時に、コスト競争力アップを図るための製造体制を強化いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は101,142百万円（前年同期比16.8%増）となりました。利益面につきましてもほぼ計画通り推移し、連結営業利益は3,958百万円（前年同期比293.3%増）、連結経常利益は4,104百万円（前年同期比230.3%増）、連結四半期純利益は2,468百万円（前年同期比1,101.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[音響部品・製品事業]

薄型テレビ用スピーカ・スピーカシステムの需要は低迷状態が続いておりますが、アフターマーケット向けオーディオ用ヘッドホンの生産、出荷は伸張いたしました。

その結果、当事業年度の売上高は21,431百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

[自動車用部品・製品事業]

車載用スピーカ・スピーカシステム等の生産、出荷は、特に北米市場が全体の需要を牽引し、好調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は26,915百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

[情報、通信機器用部品・製品事業]

携帯電話用ヘッドセット等の生産、出荷は、主要顧客向け新機種の上売が寄与し、堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は51,220百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

[その他事業]

「フォステクス」ブランドの製品等の売上高は1,574百万円（前年同期比36.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は主に売掛金及びたな卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ33,499百万円増加して103,550百万円となりました。負債は主に借入金の増加により前連結会計年度末に比べ30,001百万円増加して65,078百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定（借方残高）の減少等により前連結会計年度末に比べ3,498百万円増加して38,471百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末比12.1ポイント減の35.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより9,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,751百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の支出は、売掛金及びたな卸資産の増加等により9,100百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、設備投資等により9,165百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金の増加及び新株予約権付社債の発行等により21,783百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成24年11月2日公表の予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成25年1月30日)別途開示しております「平成25年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお業績予想の前提となる為替レートは1USドル90円、1ユーロ120円であります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積もりの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,173	10,206
受取手形及び売掛金	21,186	31,492
製品	9,206	16,452
原材料	5,891	9,158
仕掛品	993	1,541
貯蔵品	425	275
短期貸付金	68	29
未収入金	1,164	1,159
未収還付法人税等	925	—
立替金	—	1,382
前渡金	765	310
繰延税金資産	560	744
その他	954	1,880
貸倒引当金	△681	△671
流動資産合計	47,633	73,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,637	8,547
機械装置及び運搬具（純額）	7,205	10,962
工具、器具及び備品（純額）	1,926	2,919
土地	922	933
建設仮勘定	2,769	1,411
有形固定資産合計	17,461	24,773
無形固定資産		
のれん	203	129
ソフトウェア	347	239
借地権	668	693
その他	107	111
無形固定資産合計	1,327	1,173
投資その他の資産		
投資有価証券	1,990	1,836
長期貸付金	48	39
長期前払費用	1,167	1,396
繰延税金資産	105	116
その他	326	259
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,628	3,640
固定資産合計	22,416	29,587
資産合計	70,050	103,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,347	13,131
短期借入金	16,461	31,101
1年内返済予定の長期借入金	285	733
未払金	2,987	4,196
未払法人税等	182	404
未払費用	1,312	1,388
繰延税金負債	0	702
賞与引当金	533	706
その他	462	764
流動負債合計	32,573	53,131
固定負債		
新株予約権付社債	—	6,000
長期借入金	1,675	4,807
繰延税金負債	386	364
退職給付引当金	256	364
役員退職慰労引当金	63	67
資産除去債務	—	217
その他	120	125
固定負債合計	2,503	11,947
負債合計	35,076	65,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,770	3,770
資本剰余金	6,372	6,372
利益剰余金	31,044	33,046
自己株式	△133	△133
株主資本合計	41,054	43,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	13
為替換算調整勘定	△8,122	△6,696
その他の包括利益累計額合計	△8,001	△6,682
少数株主持分	1,920	2,097
純資産合計	34,973	38,471
負債純資産合計	70,050	103,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	86,558	101,142
売上原価	77,550	86,672
売上総利益	9,008	14,469
販売費及び一般管理費	8,001	10,510
営業利益	1,006	3,958
営業外収益		
受取利息	47	70
受取配当金	39	36
為替差益	118	71
雑収入	230	306
営業外収益合計	436	485
営業外費用		
支払利息	156	189
雑損失	44	149
営業外費用合計	200	339
経常利益	1,242	4,104
特別利益		
国庫補助金	67	—
特別利益合計	67	—
特別損失		
有形固定資産除却損	35	—
投資有価証券売却損	151	—
投資有価証券評価損	137	—
ゴルフ会員権評価損	11	—
特別損失合計	335	—
税金等調整前四半期純利益	975	4,104
法人税、住民税及び事業税	358	631
法人税等調整額	228	804
法人税等合計	586	1,436
少数株主損益調整前四半期純利益	388	2,668
少数株主利益	182	199
四半期純利益	205	2,468

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	388	2,668
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△147	△107
為替換算調整勘定	△1,556	1,357
その他の包括利益合計	△1,703	1,250
四半期包括利益	△1,315	3,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,357	3,787
少数株主に係る四半期包括利益	42	131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	975	4,104
減価償却費	2,350	3,082
のれん償却額	72	73
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△49	△47
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	65	98
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△151	△32
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△87	137
有形固定資産除却損	35	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	137	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	151	—
受取利息及び受取配当金	△87	△107
支払利息	156	189
為替差損益 (△は益)	△460	1,312
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,529	△10,006
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,411	△10,029
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,322	2,150
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,179	48
立替金の増減額 (△は増加)	—	△1,382
未払金の増減額 (△は減少)	157	886
前渡金の増減額 (△は増加)	△440	527
その他	138	△230
小計	168	△9,222
利息及び配当金の受取額	87	107
利息の支払額	△156	△189
法人税等の支払額	△2,420	△720
法人税等の還付額	0	925
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,320	△9,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	48	—
有形固定資産の取得による支出	△5,132	△8,410
有形固定資産の売却による収入	131	12
無形固定資産の取得による支出	△196	△60
定期預金の増減額 (△は増加)	△195	△256
短期貸付金の増減額 (△は増加)	45	50
長期貸付けによる支出	△19	△13
長期貸付金の回収による収入	11	12
長期前払費用の取得による支出	△391	△556
その他	△24	56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,722	△9,165

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,607	12,885
長期借入れによる収入	1,237	3,815
長期借入金の返済による支出	△105	△386
新株予約権付社債の発行による収入	—	6,000
配当金の支払額	△1,003	△466
少数株主への配当金の支払額	△122	△64
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,613	21,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	△319	234
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	250	3,751
現金及び現金同等物の期首残高	7,607	5,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,858	9,354

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

報告セグメント	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響 部品・製品事業	自動車用 部品・製品事業	情報、通信機器用 部品・製品事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	20,884	21,330	43,191	1,152	86,558	-	86,558
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	20,884	21,330	43,191	1,152	86,558	-	86,558
セグメント利益	△301	△401	1,654	126	1,078	△72	1,006

(注) 1 セグメントの調整額△72百万円は、のれん償却額であります。
2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

報告セグメント	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響 部品・製品事業	自動車用 部品・製品事業	情報、通信機器用 部品・製品事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	21,431	26,915	51,220	1,574	101,142	-	101,142
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	21,431	26,915	51,220	1,574	101,142	-	101,142
セグメント利益	1,464	1,345	1,056	166	4,032	△73	3,958

(注) 1 セグメントの調整額△73百万円は、のれん償却額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
音響部品・製品事業	オーディオ用及びテレビ用スピーカ並びにスピーカシステム、アンプ内蔵スピーカ、ヘッドホン等
自動車用部品・製品事業	車載用スピーカ及びスピーカシステム等
情報、通信機器用部品・製品事業	携帯電話用ヘッドセット及び小型スピーカ、業務用マイクロホン等
その他事業	「フォステクス」ブランドの製品、物流サービス等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
該当事項はありません。